令和5年4月~ 令和6年3月分

有料広告を募集します

2月7日② ~ 22日③ 募集期間

「広報つばめ〈発行部数:30,800部〉」と、24時間 PR できる「燕市ホームページ〈平均ア クセス数:月間約85,000件(令和4年中の平均値、トップページのみ)〉」に掲載する有料広 告を募集します。企業や団体だけではなく、個人のお店の皆さんも PR してみませんか?

●申込・問合せ 広報秘書課 広報広聴係 ☎ 0256・77・8363

●広報つばめ(毎月1日発行)

掲載場所	募集枠数 (1号あたり)	掲載料	大きさ	刷色
大判枠	1 枠	1枠 100,000円	縦 170.0mm 横 169.0mm	- 2色 黒とシアン(青系の色) ※裏表紙は4色(カラー) も可
くらしの 鍵情報	16枠	1 枠 15,000 円 合併枠 30,000 円	1 枠 縦 45.5mm 横 82.0mm	
裏表紙	2枠	1 枠 20,000 円 合併枠 40,000 円	合併枠 縦 45.5mm 横 169.0mm	

●燕市公式ホームページ

○掲載位置 トップページ最下段部分

○募集枠数 1月あたり10枠 ○掲載料 月額 10.000 円

○規 格 ・大きさ 縦80ピクセル、横180ピクセル

・形式 JPEG、PNG(ロールオーバーは不可)



■広報つばめ広告「合併枠」の原寸サイズ

※申込書は、広報秘書課 広報広聴係(市役所 3階1番窓口)に用意してあるほか、市ホー ムページからもダウンロードできます。



45.5mm

4枠掲載ごとに 10%が割り引かれます

「広報つばめ」と「燕市ホームページ」の広告は、 同一年度内に計4枠掲載すると、掲載料の合計か ら 10%を割り引く特典があります。

※「大判枠」はすでに割引価格となっているため、 10%割引の対象外となります。

11

■広報つばめ広告「1枠」の原寸サイズ

※簡単なデザインの広告であれ ば、広報広聴係で作成できます。 お気軽にご相談ください。

◆----- 82.0mm -----

中学生が 考えた

「私たちがずっといたいと思える燕市に…」変えていきたい!

昨年 11 月、燕中学校で総合的な学習の時間を活用して、「燕市の未来を考える」ことをテーマに活動を行いまし た。3年生の皆さんが燕の未来を自分たちなりに考えることで、地域への関心を深めたり、自身の将来への意識を 高めたりするために行われました。地域の大人たちも交えて考えた「5年後の理想の燕市」を紹介します。

未来の燕市を 考えてみる!



まずは、燕市で働く大人による「なぜ、今燕市で 働いているのか」についてのトークセッション。燕 市で働くことの魅力、未来の燕への希望などを話し ました。

【パネリスト】

本宮宏美さん(フルート奏者)、シマダマサノリさん (アートデザイナー)、岩浪陸さん(キセル職人)





その後、「自分たちが20歳を迎える5年後に燕市 がどうなっていたら住み続けたいと思えるか」につ いてのアイデア出し。ワークショップのファシリテー ターには、つばめいとの皆さんから協力していただ き、地域の大人を交えて共同作業に取り組みました。

「大人たち」は、生徒も「地域で共に暮らす"生活者"」 と捉えて、若者が住み続けたいと思うまちにするた めに、何が求められているのか、そのために自分た ちが、今、何ができるのかについて考えました。

未来の燕市に これがほしい!



よりも賑やかで楽しい雰囲気のまち・燕市で暮らしたい!

たくさんの人が 触れ合えて、思 いっきり楽しめる 施設がほしい!

歩いて行ける距 離に遊べる施設が ほしい!

賑やかなまちに なってほしい!

新しいイベント や一日中楽しめる 場所がほしい!

給食をもっと楽 しみたい! (好きなところで 食べたい! 給食 メニューがもっと

楽しくなってほし

電車の本数を増 やしてほしい!

達してほしい!

安全かつ快適に

過ごせるように、移

動、交通手段が発

図書館ほど静か じゃないけど、塾 じゃない自習施 設、子ども専用ジ ムなど、中高生が 楽しめる場所がほ しい!

地域の大人たちも 受け止めたい!



中学生の「住みたいまち」を叶えていきたい!



Αさん

中学生の声はしっかり大人に届 きました! デザイナーの私にでき ることは、アイデアを考えること。 「住みたいまち」になるように、楽 しいアイデアを撒いて、地元の大人 が「まちづくり」をしていく姿を皆 さんに見せていけたらと思います。



Βさん

燕に住む中学生も便利で安全な まちと交通手段を求めているんで すね!「私もこれを実現したい!」 でも自分だけではできない。だか ら、理想的なまちってどんなまち 動いていきます!



Cさん

10

「地元が面白くない」と市外に出 ることばかり考えていたあの頃の 自分。今の中学生の思いに目を通せ ば「俺たちが若い頃は~」なんて 言ってたことが恥ずかしく…。こ か、たくさんの人と話して、考えて、れはウン十年前の私たちへの挑戦 状。受けて立ちます!

●問合せ 学校教育課 指導係☎ 0256・77・8191

2023.02.01 2023.02.01